## ディジタル放送モデルステーション

**岡 進\* 中澤宣彦\***加藤嘉明\* 松室昌宏\*\*
松崎一博\* 三澤康雄\*\*

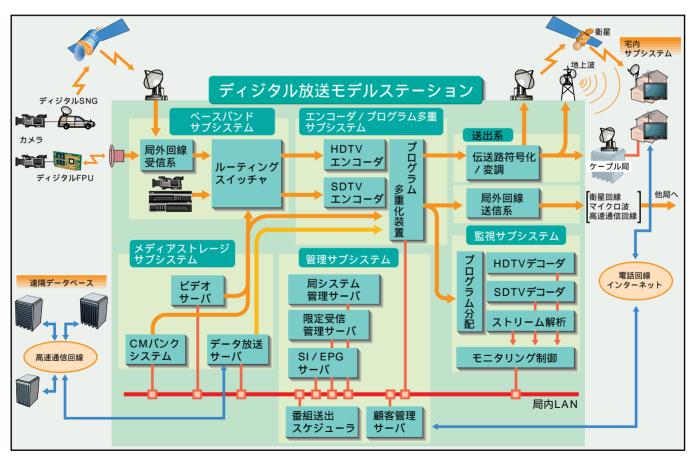
## 要旨

本格的な導入気運が高まりつつあるディジタル放送サービスを実現するためには、MPEG2を中心とした画像・音声符号化技術や多重化伝送技術を始め、メディアハンドリング、ディジタル伝送、情報処理など多くの先端技術を結集し、総合的な検証を十分に行った上でシステムを構築していく必要がある。三菱電機では、ディジタル放送サービスに必要となる機器とシステムを開発し提供していくに当たり、ディジタル放送モデルステーションを構築している。このモデルステーションの構築により、日・米・欧の地上波・衛星・ケーブルの各規格に準拠した機器とシステムを開発し、総合的な機能・性能検証を実施し、提供サービスの質の向上を図り、更に新たなサービスを創出することが可能となった。検証においては、技術ドメインでのコン

フォーマンス検証,システムドメインでのコンプライアンス検証,サービスドメインでのインタオペラビリティ検証が必要となる。

システム構成としては,ベースバンド系,エンコーダ/ プログラム多重系,メディアストレージ系,管理系,監視系,宅内系の各サプシステムからなるプロック構造を採用 している。

このモデルステーションを用いて、ビデオコーデック、 多重化装置など各種キーコンポーネントを効果的に開発し、 HDTV放送、マルチチャネル放送、データ放送、電子番 組案内など今後のディジタル放送の各種サービスに対応し た最適なソリューションを提供していく。



ディジタル放送モデルステーション

日・米・欧の地上波,衛星,ケーブル各放送にかかわる標準化動向を踏まえた機器とシステムの総合的な検証を行うため,ディジタル放送モデルステーションを構築した。これにより,各サービスに対応したより質の高いサービスの提供が可能となった。